

第3回 久代小地域 地域別懇談会の概要

日 時：平成23年9月20日（火）

午後7時～9時

場 所：久代会館

参加人数：19名



1 グループワーク

本日は、第2回目で検討した「ありたい姿」の実現にむけて、「どういう取り組みをしていくべきか」、また「その主体は誰なのか」について意見交換を行った。

その後、「地域のありたい姿」を総称するもの、またその実現にむけた活動の方針などを表すものとして「キャッチフレーズ」を作成した。

《A班》

【ありたい姿】

テーマ	ありたい姿	フレーズ	取り組み
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音のないまち ・ホタルが飛び交うまちづくり 	川のせせらぎが聞こえるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の家の前をきれいにしておく（1人） ・ポイ捨てのないまちづくり、罰則をつくるなど（市・他団体）
子育てのしやすい環境	<ul style="list-style-type: none"> ・老若男女が安全・安心に暮らせる地域 ・働きやすい環境 ・健康と金 	子育てしやすいまち	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致（市・他団体） ・子ども達を地域の人達の目で見ると（地域） ・安全に遊べる公園づくり（地域、市・他団体） ・久代子どもセンターの利用（子育て広場）（地域）
地域の行事・交流	<ul style="list-style-type: none"> ・どんと祭 ・クローリング大会 ・健康体操 ・ふれあい広場「久代」など 	三世代のふれあいの街づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域でのあいさつ強化（1人、地域） ・高齢者の集いの場づくり（地域） ・地域別懇談会を何度かする（様々な年代で）（地域） ・グラウンド、体育館を増やす（市・他団体） ・水路の清掃（地域）

【決まったキャッチフレーズ】

☺ (笑顔と輪) の町 ワッショイ久代

《B班》

【ありたい姿】

テーマ	ありたい姿	フレーズ	取組み
地域のつながり・交流	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いのあいさつ ・隣近所の付き合いを親密にする ・自治会員の増加 ・学校と地域のつながりをつくる ・3世代が同居できる暮らし 	気軽に地域の方とのあいさつができるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・各自が積極的な挨拶をする(1人) ・大人から子どもへの挨拶(1人) ・自治会、コミュニティで「あいさつ運動」を実施する(地域) ・子どもの才能を発表する場と応援する場があれば良い(地域、市・他団体)
自然と農業	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が残り、魚やザリガニなど、子どもが安心して遊べる地域 ・農業(イチジクの生産)が続けられる ・自然を利用した産業で雇用を増やす 	イチジクの生産を体験でき、直売所で買うことができるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・移転跡地の緑化を進める(地域、市・他団体) ・イチジク栽培を実体験したい人を募集して生産組合の役員で検討する(地域) ・貸農園があれば農家の方と交流できる(地域、市・他団体)
住みやすいまち	<ul style="list-style-type: none"> ・便利さ(交通など)と快適さ(住環境など)の両立 ・若夫婦が地域に住める 	若い人も住みたくなるようなまち	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ、スーパーを誘致する(地域、市・他団体)

【決まったキャッチフレーズ】

甘いイチジク 心でつなく 住みよい久代

《C班》

【ありたい姿】

テーマ	ありたい姿	フレーズ	取組み
静かな町	<ul style="list-style-type: none"> ・航空機騒音のない生活 	航空機騒音のない静かなまち	<ul style="list-style-type: none"> ・飛行場の移転、騒音レベルを低くする工夫など(市・他団

テーマ	ありたい姿	フレーズ	取組み
ひとりぼっちにならない暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・弱者（障害者、引きこもり、高齢者など）へのいたわりのある社会 ・世代間のあいさつ、交流の活発化 ・心から話し合える暮らし ・高齢者をもっと活用してもらえるように（元気な高齢者が多く、時間に余裕があるので） 	世代間交流で一人ぼっちにならないまち	<ul style="list-style-type: none"> ・体） ・新型機の開発（低音化）（市・他団体） ・地域での協力関係の構築（地域） ・若者と老人の交流の場をつくる（地域） ・高齢者との交流ボランティア活動を確立する（地域）
自然の大切さ	<ul style="list-style-type: none"> ・清水のわく水路にカメやドジョウ、メダカが暮らす ・今の空間と自然を大切に暮らしていきたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かな春日の森小鳥がさえずる猪名川の流れ ・豊かな自然づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画との調和（市・他団体） ・住宅区と準工地区を分けて水路を作る（市・他団体） ・自分が住んでいる家の周りから美しくしていく（1人）
地域のふれあい	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会や自治会などが充実している ・地域をもっと皆で理解しあい、助けあう 	あたたかい地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流事業の確立（地域） ・自治会、老人会、子ども会の交流（地域） ・家庭内、リサイクル品交換ネットワークの保有（地域） ・高齢者による子育て支援（地域） ・若者層による高齢者支援（地域） ・地域みんなで助け合う（地域）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・上り下りが容易なくらし 	-	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすで登れる坂道（市・他団体）

【決まったキャッチフレーズ】

心豊かなに ふれ合う いちじくの街！

2 各班の発表概要

A 班

- ・ 私たちの班では、キーワードとして「自然の緑」「絆」「輪・和」「笑顔」などの言葉が出された。
- ・ その結果、「☺（笑顔と輪）の町 ワッショイ久代」というキャッチフレーズとした。
- ・ まちづくりにはそこに暮らす人々の笑顔と人のつながり（輪）が不可欠であり、勢いも大切であるということから最後に「ワッショイ」という掛け声のようなフレーズをいれた。



B 班

- ・ 私たちの班では、「あいさつ」が全ての基本であるという話になった。
- ・ あいさつによって、人々の交流が生まれ、地域同士がつながっていく。
- ・ このことを念頭に置き、私たちは班のキャッチフレーズは「甘いイチジク 心でつなぐ 住み良い久代」とした。
- ・ 久代の自然の豊かさ、地域をつなぎたい、そして誰もが暮らしやすいまちに…という思いが詰まったフレーズが出来たと思う。



C 班

- ・ 本日の皆さんの議論を聞いていて、久代の人々は非常に地域に愛着や誇りを持っていると感じた。
- ・ その結果が、地域のありたい姿として「暖かい地域づくり」「一人ぼっちにならないまち」という言葉に表れていると思う。
- ・ このような議論を踏まえて、私たちの班のキャッチフレーズは「心豊かにふれ合ういちじくの街！」となった。
- ・ 今回の議論が実現するようなまちになれば良いと思う。



3 おわりに

最後に、市：本庄部長よりひとこと。

- ・ 3回にわたる地域別懇談会に参加していただきご苦労さまでした。
- ・ 今回の検討結果を踏まえて、総合計画における地域別構想の骨子として整理していく予定である。
- ・ また、来年度以降、市として地域分権の制度づくりを進めていく予定であり、またこのような場を設けてご議論いただく機会もあると思うので、引き続きご協力をお願いしたい。